

エチレン酢酸 ビニル樹脂系 シート防水

EVA

令和4年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書」「公共建築改修工事標準仕様書」
種別「S-C1」



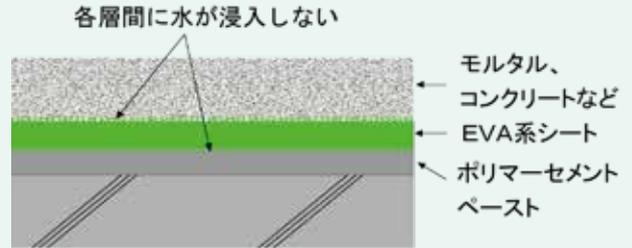
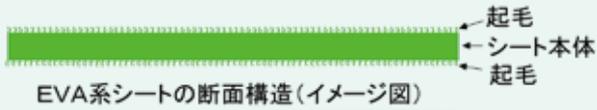
合成高分子ルーフィング工業会

エチレン酢酸ビニル樹脂（EVA）系シート防水の特長

エチレン酢酸ビニル樹脂（EVA）系シート防水は、セメントとポリマー混和液と水を現場混合したポリマーセメントペーストを接着剤として張り付ける工法で、下地及び保護層と密着します。

材料の特長

EVA系シートは表面に細かな起毛が付与され、また、セメントや接着剤と強固に密着するように加工されています。



安全性に 優れる

シート及び副資材に有機溶剤を使用していません。上水道施設にも使用できます。

日本水道協会規格 JWVAZ108 に合格



耐薬品・ 耐温水性に優れる

厨房や浴槽、下水道施設などでも使用できます。

下地に 追従できる

シートは500%の伸び率を有しているため、下地の動きに容易に追従できます。

施工面の特長

湿潤面でも 施工できる

脱型直後、降雨直後でも施工できる数少ない材料の1つです。

人や環境に とても優しい

火気や有機溶剤を使用しないため近隣対策が不要で屋内防水に最適です。

施工が速い

1層防水のため施工が速く工期短縮に貢献できます。水張り試験も翌日可能です。

設計面の特長

押え金物不要

下地との接着力が強く、また経年での劣化が少ないため、押え金物が不要です。

立上りの 納まりが容易

下地との層間水密性が高いため、防水端部の納まりが容易になります。

タイル下地を 薄くできる

保護モルタルとも強固に接着することから、タイル下地となる保護層を薄くすることができます。

KRK 標準仕様

RE-C301 保護密着工法

屋内防水用

国土交通省監修「公共建築工事標準仕様書」「公共建築改修工事標準仕様書」 種別「S-C1」

浴槽・浴室

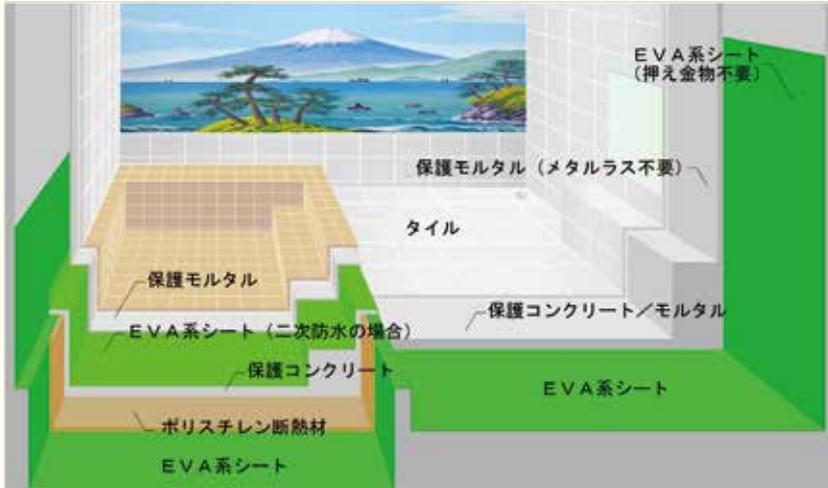
厨房

プール

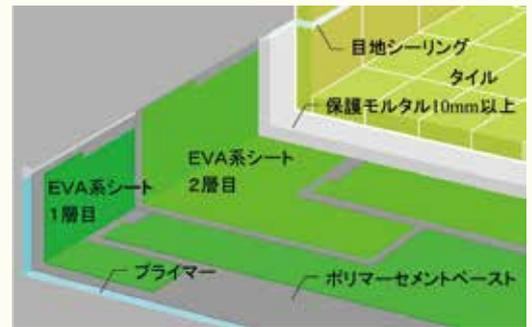
(一社) 日本建築学会 「JASS 8」 参考となる仕様

工場床

トイレ



RE-C301W 保護二層密着工法



	RE-C301	RE-C301W
1		プライマー (0.3 kg / m ²)
2		ポリマーセメントペースト (3.0 kg / m ²)
3		EVA系シート 1.0mm (1.1m ² / m ²)
4		ポリマーセメントペースト (3.0 kg / m ²)
5		EVA系シート 1.0mm (1.1m ² / m ²)

国土交通省監修「公共建築（改修）工事標準仕様書」（令和4年版）＜EVA系シート関係抜粋＞

9章（改修は3章） 防水工事

4節（改修は5節） 合成高分子系ルーフィングシート防水

表 9.4.3 (改修は表 3.5.3) 合成高分子系ルーフィングシート防水(屋内保護密着工法)の工法、種別及び工程

工法	屋内保護密着工法	
種別	S-C1 (注1)	
工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.3
2	接着剤(ポリマーセメントペースト)塗布	3.0
3	エチレン酢酸ビニル樹脂系 ルーフィングシート(1.0mm)張付け	-
4	保護モルタル (注2)	-

(注) 1. S-C1については、屋内防水に適用する。
2. 工程4の保護モルタルの塗厚は、特記による。

9.4.4 (改修は3.5.4) 施工

(2) プライマー塗りは、次による。

(ウ) 屋内保護密着工法の場合、左官ばけを用いて擦り込むように当日の施工範囲をむらなく塗布する。

(3) 接着剤の塗布は、次による。

(ウ) 屋内保護密着工法の場合は、プライマーの乾燥後、金ごて等を用いて下地にむらなく塗布する。

(5) 増張り及び成型役物は、次による。

(7) 立上り部の出入り隅角の補強は、次による。

(c) 種別S-C1の場合は、ルーフィングシート張付けに先立ち、成形役物又は200mm角程度の増張り用シートを張り付ける。

(I) 種別S-C1の場合、排水器具、配管等と周囲の防水下地材との取り合いは、ルーフィングシートの張り付けに先立ち、次の処理を行う。

(a) 排水器具回りは、幅250mm程度の増張り用シートを排水器具のつばと下地面に割り振り、排水器具のつばには100mm程度、その残りをスラブ面に張り掛け、張り付ける。

(b) 配管回りは、幅250mm程度の増張り用シートを配管回りの下地面に張り付け後、幅80mm程度の増張り用シートを下地面に30mm程度張り掛け、張り付ける。

(6) 一般部のルーフィングシートの張り付けは、次による。

(ウ) 屋内保護密着工法の場合は、接着剤(ポリマーセメントペースト)の塗布後、直ちにルーフィングシートを張り付け、ローラー等で転圧して接着させる。

(I) ルーフィングシートの重ね幅等は、次による。

(c) 種別S-C1の場合は、次による。
ルーフィングシートの重ね幅は、幅方向、長手方向とも100mm以上とする。ルーフィングシートが3枚重ねとなる部分等に、浮きが生じないように接着剤(ポリマーセメントペースト)を隙間なく充填する。

(7) 立上り部の防水末端部の処理は、次による。

(ウ) 立上り部を屋内保護密着工法で施工する場合は、接着剤(ポリマーセメントペースト)塗布後、ローラー等で転圧し、ルーフィングシートを張り付け、はみ出したポリマーセメントペーストを端部に覆い被せる。末端部には、押え金物は使用しない。

(10) 保護層の施工は、次による。

(7) 平場の保護モルタル塗りは、次による。

(a) 床塗りの工法は、15.3.5[工法](2)の(イ)及び(ウ)に準ずる。

(b) タイル張り下地等の下地モルタル塗りの場合は、15.3.5(4)(ア)に準ずる。

(イ) 立上り部の保護モルタル塗厚は、特記がなければ、7mm以下とする。

KRK 標準仕様

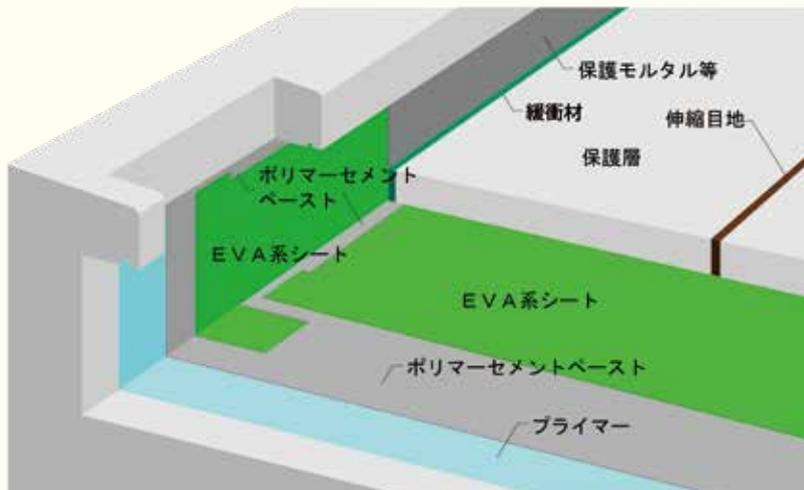
RE-C301 保護密着工法

(一社) 日本建築学会 「JASS 8」 参考となる仕様

屋外防水用

- 屋根
- 屋上駐車場
- 庇
- ルーフバルコニー
- 人工池

RE-C301W 保護二層密着工法



	RE-C301	RE-C301W
1		プライマー (0.3 kg /㎡)
2		ポリマーセメントペースト (3.0 kg /㎡)
3		EVA系シート 1.0mm (1.1㎡ /㎡)
4		ポリマーセメントペースト (3.0 kg /㎡)
5		EVA系シート 1.0mm (1.1㎡ /㎡)

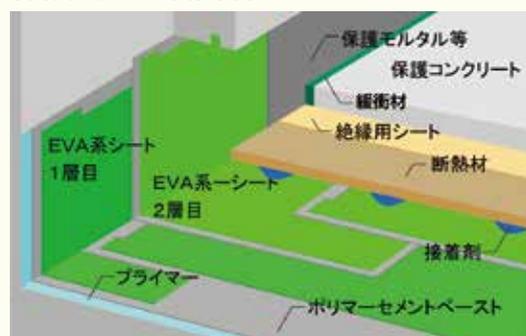
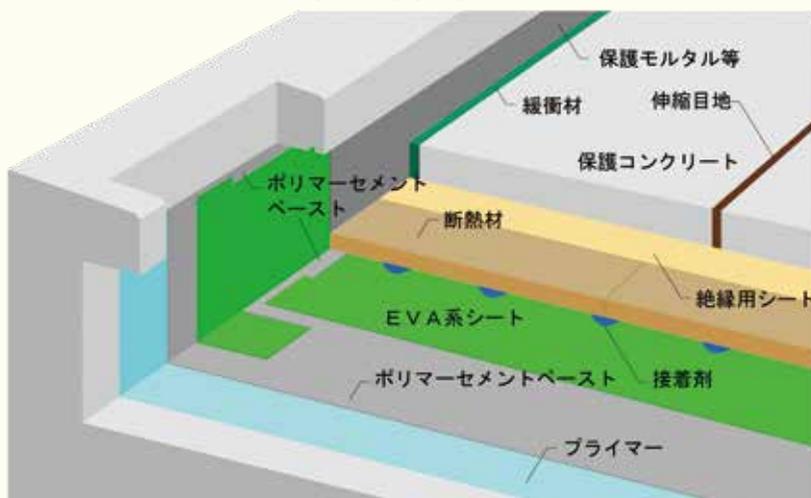
RE-C501D 保護断熱密着工法

(一社) 日本建築学会 「JASS 8」 参考となる仕様

屋外防水用

- 屋根
- 屋上駐車場
- ルーフバルコニー

RE-C501DW 保護断熱二層密着工法



	RE-C501D	RE-C501DW
1		プライマー (0.3 kg /㎡)
2		ポリマーセメントペースト (3.0 kg /㎡)
3		EVA系シート 1.0mm (1.1㎡ /㎡)
4		ポリマーセメントペースト (3.0 kg /㎡)
5		EVA系シート 1.0mm (1.1㎡ /㎡)
6		接着剤 (0.3 kg /㎡)
7		断熱材 (1.0㎡ /㎡)
8		絶縁用シート (1.1㎡ /㎡)

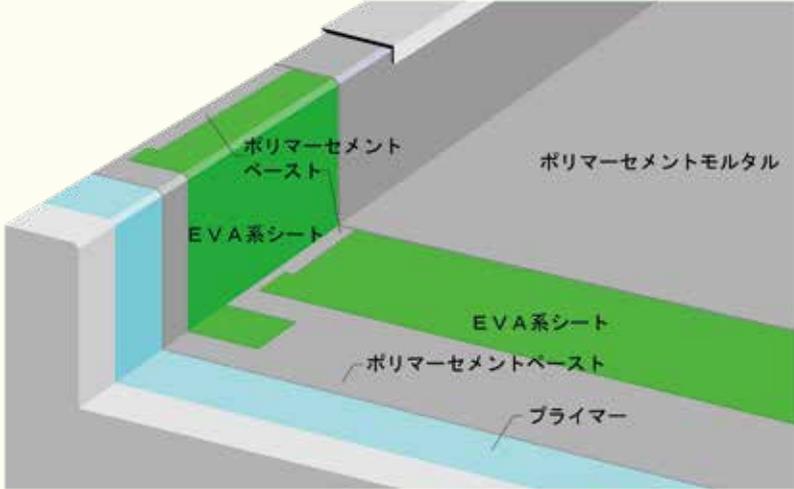
KRK 標準仕様

RE-C101 露出密着工法
RE-C201 軽歩行密着工法

屋外防水用

屋根 庇

(一社) 日本建築学会 「JASS 8」 標準仕様 S-PC



	RE-C101	RE-C201
1	プライマー (0.3 kg/m ²)	
2	ポリマーセメントペースト (3.0 kg/m ²)	
3	EVA系シート 1.0mm (1.1m ² /m ²)	
4	ポリマーセメントモルタル	
	7.0kg/m ²	8.0kg/m ²

others

その他の仕様

地下先やり工法 RE-C604



地下後やり工法 RE-C601



改修かぶせ工法 (既存タイル上から)



既存タイル



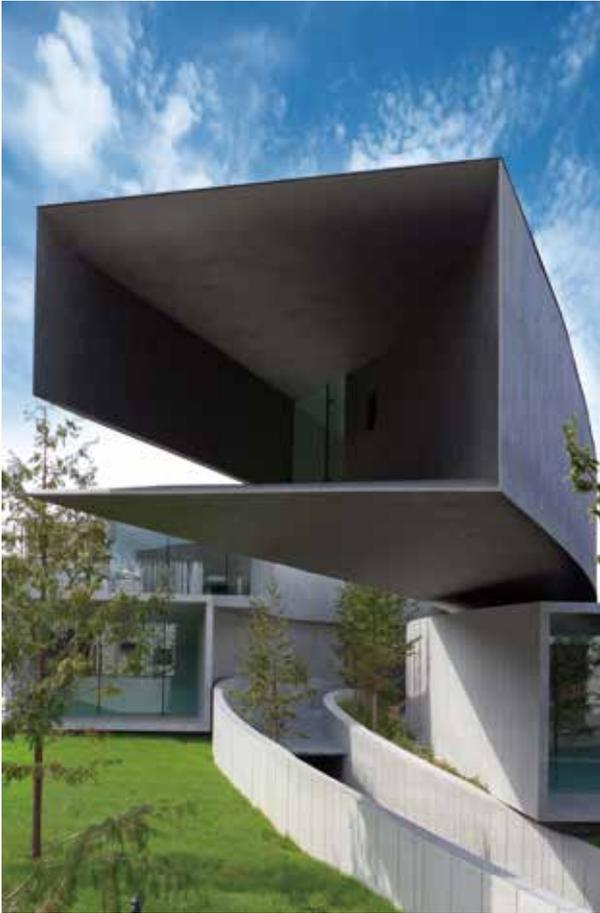
下地調整材



EVA系シート



保護モルタル 10mm程度
+新設タイル



ホキ美術館



新宿天然温泉 テルマー湯



愛知学院大学名城キャンパス 食堂棟



サイエンスヒルズこまつ

KRK 合成高分子ルーフィング工業会 EVA 部会

<https://www.krkroof.net/>

〒 103-0005 東京都中央区日本橋久松町 9-2 日新中央ビル 3 F TEL.03-6206-2928 FAX.03-6661-9034

アーキヤマデ株式会社

〒 564-0053 大阪府吹田市江の木町 24-10

TEL.06-6385-1265

<https://www.a-yamade.co.jp/>

ハセガワシート株式会社

〒 276-0022 千葉県八千代市上高野 1384-5

TEL.047-411-5014

<https://www.sanAsheet.com>

ミツ星ベルト株式会社

〒 653-0024 兵庫県神戸市長田区浜添通 4-1-21

TEL.078-685-5771

<https://www.mitsuboshi.co.jp/>